

高齢者のせん妄

安心をとどけるケアと介護の心得



守本とも子 [編]

A5判 141頁

定価(本体2,000円+税)

ISBN978-4-902630-21-3

高齢者はせん妄を起こしやすい。しかし、せん妄状態は「安心をとどける」ことによって速やかに経過させることができます。そのために、観察力をつけ、適切な対処法を知りましょう。

本書が伝える心得とケアの実際は、高齢者と身近に接するすべての人に知っていてほしいことです。それは看護・介護の基本そのものにほかなりません。

【主要目次】

第1章 せん妄とは何か 1 せん妄とはどのような状態? 2 せん妄の発症因子 せん妄はどのようなときに起こるのか まとめ(高齢者はせん妄を起こしやすい。) **第2章 せん妄に気づく** 1 どんな症状がせん妄の始まり? 2 せん妄を予測してみましょう 3 せん妄かどうかを判断するには 4 せん妄を起こすきっかけ **第3章 せん妄を起こしやすい状況——こわれやすいところへの思いやり** 1 高齢者はなぜせん妄を起こしやすいのか 2 手術後せん妄 ケース紹介-1・2 3 病気の苦痛 ケース紹介-3 4 アルコールや薬物 ケース紹介-4 5 電解質の異常 ケース紹介-5 6 夜間せん妄 ケース紹介-6 7 環境の急変——入退院、引っ越し、旅行 ケース紹介-7 **第4章 せん妄が起きてしまったら** 1 症状への適切な対応 2 安全の確保 3 人格の尊重 4 環境の整え 5 薬物治療について **第5章 健康維持と生活行動支援** 1 観察の重要性 2 援助の基本姿勢 3 身体的健康の維持 4 「できる力」を発揮させる援助 5 低活動型せん妄を伴う人への援助 6 意思決定の援助 **第6章 せん妄ケアの実際——看護師による事例報告** 事例●1-環境の変化(病室移動)によるせん妄 事例●2-下痢による脱水(電解質バランスの異常)が直接原因と考えられたせん妄 事例●3-複数の要因が重なり合って発症したせん妄 事例●4-疾患(脳梗塞)によるせん妄 事例●5-パーキンソン病に伴う認知障害がある人に現われた異常行動 事例●6-認知症と誤認されやすいせん妄 事例●7-強い痛みによるせん妄——入院中の幻覚・妄想体験 事例●8-終末期せん妄

編者(もりもとともこ): 奈良学園大学教授(基礎看護学、ターミナルケア論) 執筆者: 野中浩幸、酒井千知、奥百合子、川口ちづる、大谷須美子、川田美和、鎗内希美子、大西 恵、横嶋清美、山田ゆきこ (2014.10)

★書店でお買い求めください。専門書店以外では棚にない場合が多いと思いますが、お取り寄せは必ず可能です。

★直接注文も承ります。代金後払、振替用紙(払込料金小社負担)同封にて直送します(送料:200円、2冊以上同時注文は無料)。郵便、FAX、電話、Eメール chumon@spica-op.jp 等でお申し付けください。小社ホームページでもご案内しています。

裏面を注文票としてご利用ください。

【注文票】 *書店を通される場合にも本票を利用されると確実です。ご利用の書店にお渡しください。

すぴか書房 宛 FAX 048-464-8336

書名	高齡者のせん妄 安心をとどけるケアと介護の心得 定価（本体 2,000 円＋税） ISBN978-4-902630-21-3		冊 注文します	
発行所	すぴか書房 〒351-0114 和光市本町 2-6 レインボープラザ 602 TEL 048-464-8364 Eメール chumon@spica-op.jp	日付	月 日	
お客様 （お届け先）	ご住所 〒			
	フリガナ お名前	電話 FAX Eメール：		

【備考欄】

*小社へのメッセージ、出版活動へのご意見・ご希望などの通信欄として自由にお使いください。また、関心のあるテーマについてお聞かせいただけましたら幸甚に存じます。